

皆様に、最新の**労働災害情報**をおとどけしています！

# 災害発生情報 No.70

2014. 8. 20  
(社) 筑西労働基準協会

筑西労働基準監督署管内で発生した労働災害の最新情報をお届けしています。各社の安全衛生管理活動にご活用ください。

## 【高温ばく露】

業種	プラスチック製品製造業	経験	20年	年齢	49歳	男女	男性
発生日	発生時刻		10時00分				
発生状況	工場内にて溶接作業中、10時になったので休憩しようとしたところ、気持ち悪くなった。						
負傷の程度／部位	熱中症			休業見込	不休		

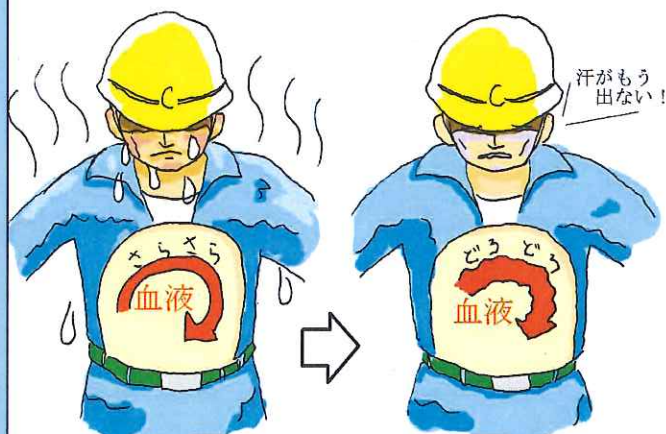
### ◆ コメント

地球温暖化が叫ばれるようになったのはここ数十年。夏になると毎年のように熱中症が話題となり、数十年前よりも平均気温が高くなったという報道も見かけます。

「暑熱順化」という言葉をご存知の方も多いと思いますが、人間の体は暑い環境にいると自然と適応し、汗により放熱しやすくなります。逆の「寒冷順化」もあります。

梅雨明けなど急に暑くなってからの1週間以内に熱中症の発症が多いのは、「暑熱順化」していないからと言われます。

「暑熱順化」後でも長期間涼しい環境にいると体はそれに慣れ戻ってしまいます。実は、お盆休み明けの今週も注意が必要です。



水分を補給しないで頑張り続けると、熱中症になります。熱中症になると、腎機能などに障害が残ることがあります。

### ◆ 再発防止のアドバイス

- 1 体調の不調（汗が出にくくなる、頭痛など）を感じたら、休憩時間まで我慢せず直ちに報告し、早めの休憩、水分補給をします。その際、塩分の取りすぎには注意し、冷たいものだけでなく、常温の物も摂取するようにします。
- 2 事務仕事などエアコンの効いた環境で仕事をしている人の場合、意図的に運動して汗をかく、炭酸ガスの入浴剤を使用したお風呂に入るなどで「暑熱順化」しておきます。

### 【お願い】

この記事は、筑西労働基準監督署のご協力により作成し、随時お届けしています。お届けしている災害情報はすべて実際に発生した事件ですが、わかりやすいように一部加工する場合があります。